

鏡川流域パートナーシップだより No.278 R8.5.26



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

「いきもの発見 in 鏡川！」で水生生物について学びました！

5月17日(日)、高知市工石山青少年の家と高知市新エネルギー・環境政策課の共催イベント「**生きもの発見 in 鏡川!**」が開催されました！小学3～6年生の**17名**が参加し、鏡川源流憩いの広場で水生生物を調査しました！実施に当たり、株式会社相愛で自然環境調査を担当する高橋さん、大和さん、小島さんの3名に講師としてご協力いただきました。当日は天気が良く、絶好の調査日和でした^^



① ライフジャケットを着用し、準備体操をしてから、調査を開始しました。調査は、休憩をとりながら行い、約1時間で水生昆虫やタカハヤ、カニ、カジカガエルなど、様々な生きものを見つけることができました！



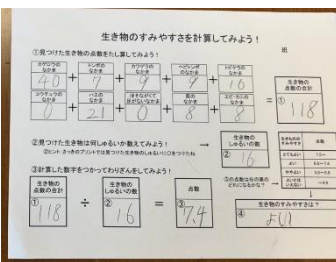
② 調査後、捕まえた水生生物を見ながら、それぞれの生態等について学びました。例えば、「カニのオスは片方のハサミが大きい」とのことで、実際にカニのオスとメスを並べて見比べ、**違いを理解**することができました！



③ 調査では、専門の方が使う道具を用いた採取も体験させてもらい、子どもたちは生きものを見つけやすい場所や捕まえるコツを教わっていました！下流から上流に向けて網を構えるのがポイントとのこと！



④ 観察が終わると、子どもたちは水生昆虫以外の生きものを川に帰しました。帰す時には、「バイバイ！」や「元気だね！」といった声が聞こえてきました！これからも、**生きものを大切に**する気持ちを忘れないでほしいです^^



⑤ 午後からは会場を土佐山公民館に移し、水生生物や鏡川についての学習会を実施しました！3つのグループに分かれ、講師の方々に協力してもらいながら、捕まえた水生昆虫を種類ごとに分けました。そして、講師の高橋さんが作ってくれた専用のシートを使い、**生きもの**のすみやすさを数値化しました。

結果は4段階中の上から2つである「とてもよい」又は「よい」であり、**鏡川は生物にとって住みやすい環境**であることが分かりますね！

⑥ 高橋さんに講義をしていただきました。クイズもあり、楽しく学ぶことができました♪



⑦ 最後は、感想文を書いてもらいました。枠内に書ききれず、裏面にも書いてくれた参加者もいました！

鏡川や鏡川に生息する生きものに触れる機会を今後も大切にしていきたいと思います^^



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android